

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	三浦市における循環のみちの実現（第二期）（重点計画）															
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）											重点配分対象の該当	○			
交付対象	三浦市															
計画の目標	三浦市の下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		83	A	83	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	公共下水道（汚水）普及率を33.4%（H27）から33.6%（H32）に増加する。			
	公共下水道（汚水）普及率	33%	34%	34%
	処理区域内人口（人）/総人口（人）			
2	公共下水道事業におけるコンセッション方式導入検討進捗率を0.0%（H30）から100.0%（H32）に増加する。			
	公共下水道事業におけるコンセッション方式導入検討進捗率	0%	0%	100%
	コンセッション方式導入に向けた検討実施済み項目数/コンセッション方式導入に向け必要な検討項目数（15項目）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
平成28・29年度は、当初の社会資本総合整備計画平成30年度以降、重点計画に変更														

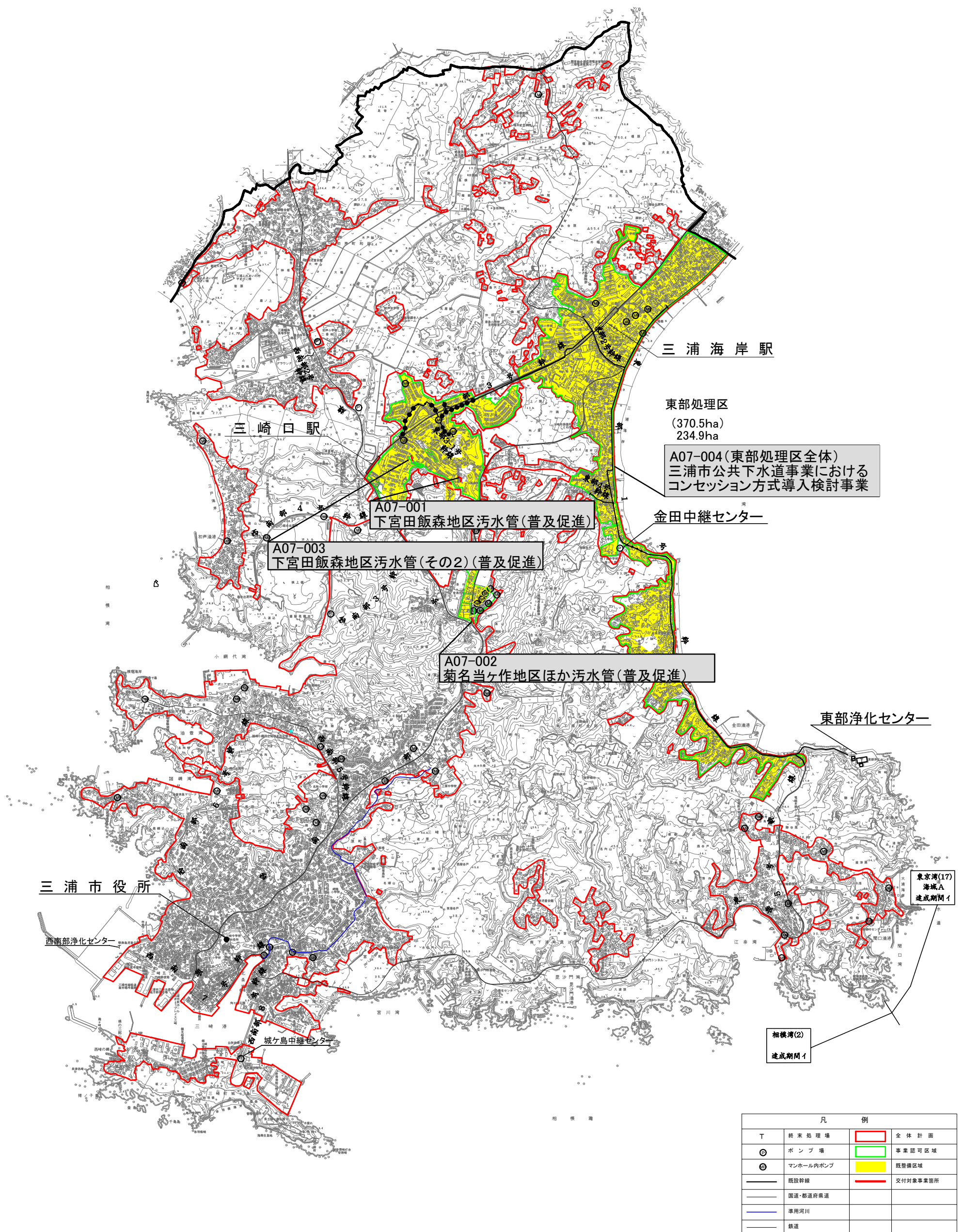
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠（ 污水）	新設	下宮田飯森地区污水管（ 普及促進）	延長 L=0.08km 面積 A=0.42 ha	三浦市						26		-
	A07-002	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠（ 污水）	新設	菊名当ヶ作地区ほか污水 管（普及促進）	延長 L=0.05km 面積 A=0.06h a	三浦市						11		-
		「平成28・29年度は、既計画で実施」																	
	A07-003	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠（ 污水）	新設	下宮田飯森地区污水管（ その２）（普及促進）	延長L = 0.04km 面積A = 0.2 3ha	三浦市						17		-
	A07-004	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処 理場	改築	三浦市公共下水道事業に おけるコンセッション方 式導入検討事業	コンセッション方式導入検討 （処理場・ポンプ場・管きょ ）	三浦市						29		-
											小計						83		
										合計						83			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三浦市上下水道部下水道課内での審議実施 学識経験者への意見聴取	令和5年3月
	公表の方法
	ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【生活環境の改善および公共用水域の水質保全】 アクションプランの策定や汚水管の整備等により、生活環境の改善と公共用水域の水質保全および公衆衛生の向上が図れた。 【下水道事業運営の効率化】 検討の進捗は目標に達しなかったものの、導入方針の決定に必要な諸条件の検討等を行い、事業運営の効率化につながる取組みを推進することができた。 なお、公共下水道事業におけるコンセッション方式導入予定は令和3年4月から令和5年4月に見直している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
【生活環境の改善および公共用水域の水質保全】 下水道未整備箇所の整備を行い、更なる公共下水道（汚水）の普及率向上を図る。 【下水道事業運営の効率化】 令和3年度以降もコンセッション方式導入に向けた検討を進め、令和5年4月からはコンセッション事業を開始し事業運営の効率化を図っていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	処理区域内人口（人） / 総人口（人）		
	最 終 目標値	34%	汚水管の整備は概ね計画通りに進捗した。一方整備計画策定時の人口推計に比べて実際の総人口の減少が多く、処理区域内人口が少なかったため、公共下水道（汚水）普及率は最終目標値を上回った。
	最 終 実績値	35%	
2	コンセッション方式導入に向けた検討実施済み項目数 / コンセッション方式導入に向け必要な項目検討数（15項目）		
	最 終 目標値	100%	公共下水道事業におけるコンセッション方式導入の検討にあたり、運営計画（運転計画・維持管理計画・改築更新計画等）の調査・作成や、前例の少ない管きょを含むコンセッション事業を検討したため、事業スキームの作成に時間を要したことから、進捗率が目標値に達しなかった。なお、公共下水道事業におけるコンセッション方式導入予定は令和3年4月から令和5年4月に見直している。
	最 終 実績値	30%	

三浦市における循環のみちの実現(第二期)(重点計画)



三浦市の社会資本総合整備計画に対する事後評価について

三浦市社会資本総合整備計画の事後評価について下記のとおり確認しました。

記

1. 事後評価対象計画

社会資本整備総合交付金

「三浦市における循環のまちの実現（第二期）」（平成 28 年度～令和 2 年度）

「三浦市における循環のまちの実現（第二期）（重点計画）」（平成 30 年度～令和 2 年度）

防災・安全交付金

「三浦市の安心・安全な下水道事業」（平成 28 年度～令和 2 年度）

2. 事後評価内容について

この度、三浦市で作成された社会資本総合整備計画は、実施後の計画の成果目標（定量的指標）、定量的指標の定義・算定式、交付対象事業の進捗状況、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況について妥当な内容で示されていることを確認しました。

3. 意見等

・普及率については計画通りに進捗しており、人口減少に伴う普及率の上昇がみられる。今後については、限られた予算の中でアクションプランに基づく未普及地域の解消を進めるために、引続き発生土利用の促進等による工事費の削減を行うとともに新工法等の採用を検討してみてはどうか。

・検討に時間を要したものの、令和 5 年度からはコンセッション方式の導入による事業運営の効率化が見込まれる点は評価できる。今後はモニタリングにより効率的な運営が実現できているかをよく確認していただきたい。

・ストックマネジメント計画に基づいて各施設の計画的な改築が行われている。今後も、コンセッション事業による民のノウハウの活用等により、効率的な計画策定や改築事業の実施を行い、安全な下水道の実現を図っていただきたい。

以上

令和 5 年 3 月 27 日

関東学院大学
准教授

鎌田 素之